

## 年頭のご挨拶

2019年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は弊社業務に対し格別のご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

昨年の我が国の経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いておりましたが、秋以降は米中貿易摩擦の激化懸念などにより、世界的な景況感への悪影響が懸念されておりました。

わが国商品市場においては、主力商品の金が上値の重い展開に推移し、原油については急落する場面もあり、年間取引高は2年連続で前年を若干下回る厳しい市場環境にあります。

そのような中、弊社は、主務省をはじめ、商品先物取引業者など関係者のご理解を得ながら、株式会社東京商品取引所及び大阪堂島商品取引所と歩調を合わせ、清算業務に係るシステム対応など、順次実施してまいりました。

株式会社東京商品取引所においては、天然ゴム市場の構造変化を踏まえ、10月にゴムTSR20を上場して、世界最大の消費国の中国、生産国であるタイなどにとって利便性の高い市場環境を整備されたところであります。

大阪堂島商品取引所においては、10月にザラバシステムへの移行を始め、秋田こまの開始に伴う上場商品の再整備といった諸施策が実施されております。

弊社単独の施策としては、10月に取引証拠金の当日預託への制度変更を実施し、商品先物取引業者のご協力を得て、特段の混乱もなく適正に運用してまいりました。

また、国際的リスク管理規制への対応として、FMI原則で求められる定性的な情報開示を9月に実施し、その情報は弊社ホームページにて公表しております。

本年も商品先物市場の安定と信頼性向上に資するべく、役職員一丸となって清算業務に邁進する所存であります。

最後になりますが、本年も、清算参加者並びに関係各位のご指導、ご支援をお願い申し上げますとともに、皆様方のご繁栄、ご健勝を祈念して、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

2019年1月

株式会社 日本商品清算機構  
代表取締役社長 高橋 武秀